

出雲市 デジタルファースト推進計画 ＜概要版＞



令和3年(2021)3月



現状と社会課題

- 少子高齢化・人口減少対策
- 防災・減災
- 子育て支援
- 教育・医療・福祉の充実
- 産業・観光の振興
- 新型コロナウイルス感染症対策

社会全体のデジタル基盤整備・デジタル技術活用を進め、デジタルで可能なサービスが広く浸透し、さらにそれらのサービスが連動していくことで、様々な社会課題を解決し、価値を創造していくことが期待される

出雲市デジタルファースト*1 宣言(令和2年6月12日)
スマートシティ出雲を実現することで、持続可能な都市づくりを推進

出雲市における情報施策の推進方針を示す
出雲市デジタルファースト推進計画
を策定

国の動向

官民データ活用推進基本法(平成28年12月)

- **官民が保有するデータを活用**→国民の生活を豊かにすることを目指す
- 自治体に取り組むべき基本的な施策を規定
 - ① 行政手続等のオンライン化原則
 - ② オープンデータ*2 の推進
 - ③ マイナンバーカードの普及・活用
 - ④ デジタルデバイド(情報格差) 対策
 - ⑤ 情報システム改革・BPR(業務の見直し)

骨太の方針2019(令和元年6月)

- 都市機能・サービスを先進的技術の活用により高度化・効率化することで、人々が便利・快適・安全に暮らせる「**スマートシティ**」をまちづくりの基本へ

総務省/自治体DX*3 推進計画(令和2年12月)

- 自治体が**重点的に取り組むべき事項・内容を具体化**
(重点取組事項)・自治体の情報システムの標準化・共通化
 - ・マイナンバーカードの普及促進
 - ・自治体の行政手続のオンライン化
 - ・自治体のAI(人工知能)・RPA(ロボットによる業務の自動化)の利用推進
 - ・テレワークの推進
 - ・セキュリティ対策の徹底
- 取組を一定の期間で実現するため、速やかに**全庁的・横断的な推進体制を構築し**、早期から計画的に取り組むことが必要

出雲市デジタルファースト推進計画の構成

基本構想

計画の位置づけ：総合振興計画「出雲未来図」の個別計画であり、官民データ活用推進計画を兼ねる

計画の期間：令和3年4月～令和8年3月

推進体制：デジタルファースト推進本部が全体調整・進行管理し、全部署で取り組む

基本理念

市民本位
快適なまちづくり
官民共創

～DXにより市民の多様な幸せを実現～
～DXによるスマートシティの実現～
～DXによるイノベーションの創出～

将来像

“デジタル”と“ご縁”で創るスマートシティ出雲

基本施策

市民サービスのデジタルファースト

- 行政手続きのスマート化
- 個別最適な情報提供
- 迅速で効率的な行政運営



産業・観光のデジタルファースト

- 事業者におけるDXの推進
- デジタルを活用したシティセールス
- デジタルを活用した観光誘客



まちづくりのデジタルファースト

- 安全・安心のスマートシティ
- ライフスタイルのDX
- DXによるインフラ整備
- いずもGIGAスクールプラン*4の推進



共通の取組

- 官民共創によるDXの実現
- 分野横断のデータ利活用
- DXを進める人材の育成と活用



基本構想～計画の位置付けと期間

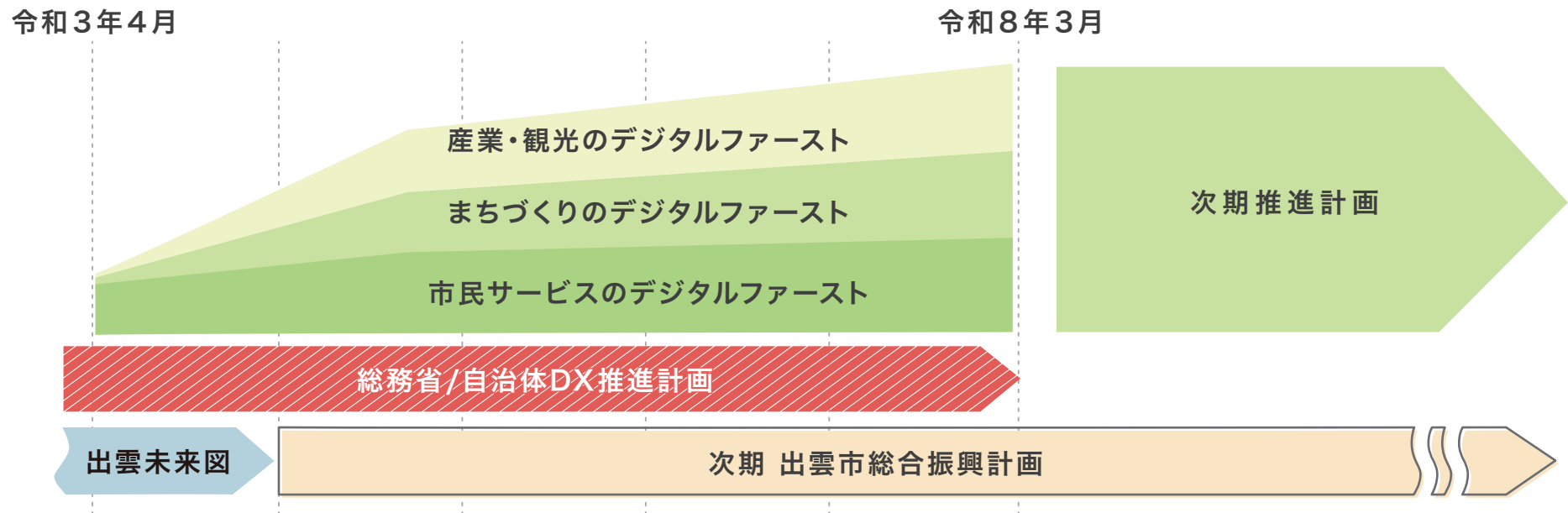
■ 計画の位置づけ

「出雲市デジタルファースト推進計画」は、本市の最上位計画である総合振興計画「出雲未来図」を実現するための個別計画であり、「市町村官民データ活用推進計画」としても位置づけます。

総務省の「自治体DX推進計画」の取組項目も盛り込みます。

■ 計画の期間

令和3年4月～令和8年3月の5年間（総務省／自治体DX推進計画と整合）



※「まちづくりのデジタルファースト」「産業・観光のデジタルファースト」の分野は、今後構築する「官民共創プラットフォーム*5」等により、地域の課題解決や新たな価値の創造を促進します。

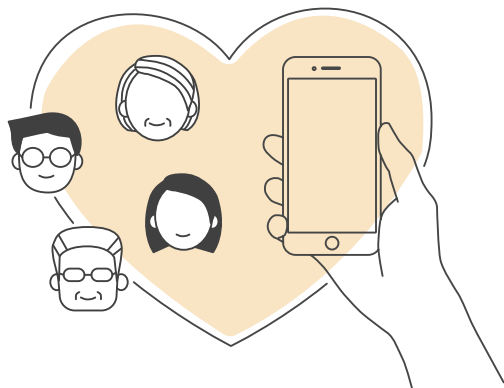
デジタルファースト推進 3つの基本理念

※基本理念：本計画を進めるうえでの基本的な考え方、その目的

市民本位

DXにより
市民の多様な幸せを実現

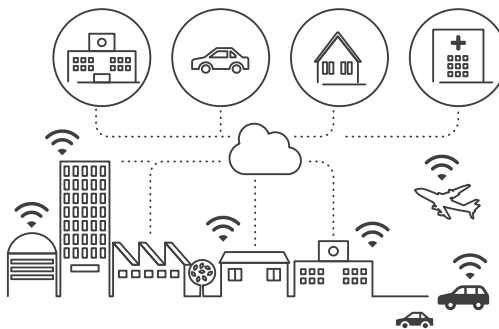
市民一人ひとりのニーズに合ったサービス
を選ぶことができ、多様な幸せを実現でき
る、人に優しいデジタル化を進めます。



快適な まちづくり

DXによる
スマートシティの実現

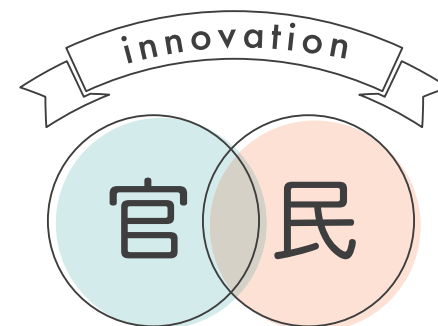
快適で心地よく暮らすことができ、
人が集まり続ける魅力ある
まちづくりを進めます。



官民共創

DXによる
イノベーションの創出

官と民が共通の目標を持ち、
互いの強みを生かし合う「官民共創」
の取組を展開します。



“デジタル”と“ご縁”で創るスマートシティ出雲

暮らしが変わる

- 安全、安心な暮らしを送るため、一人ひとりに必要な情報が必要な時期に届く
- 次代を担う人材を育てる教育、子育てへのデジタルの活用
- 直感的に使えるスマホやアプリの利用
- 地域のコミュニケーションもデジタルで気楽に
- 支払はキャッシュレスで
- デジタルを使った交流で移住、定住のきっかけづくり



産業・観光が変わる

- テレワークの人が増える
- AI、IoTで中小事業者、農林水産業の生産性が向上
- デジタルマーケティングで観光、販売の拡大



市役所が変わる

- オンラインで相談・手続きができる
- 手数料などの支払がキャッシュレスでできる
- いくつもの窓口を回る必要がない
- 業務の効率化が進み、より丁寧な対面業務が可能に



※デジタル技術やデジタルインフラの整備は急速に進展することから、状況に応じて取組内容を見直します。

1 市民サービスのデジタルファースト

年齢、性別、国籍、居住する地域等に関わらず、市民が自身にとって最適なサービスを、直感的かつ簡単に利用できるようにします。

サービスデザイン思考^{*6}を取り入れた施策立案を行い、市役所の業務改革を進め、迅速で効率的な行政運営を実現します。

2 まちづくりのデジタルファースト

全ての市民が日常的にデジタル技術を活用し又はデジタル技術が使われていることを意識せずに、自分らしくいきいきと暮らすことのできるまちを実現します。

防災、福祉・医療、都市形成・交通、教育等のあらゆる分野で、デジタル技術を効果的に活用し、利便性を高めていきます。

3 産業・観光のデジタルファースト

規模や業種を問わず、柔軟な働き方が可能で、働きがいにあふれる生産性の高い職場を増やします。本市で働き暮らしたい移住者や出身者に加え、本市に関わりを持つ関係人口層が集まり続ける、魅力あるまちをつくれます。

行政・民間ともに、市民本位・顧客本位の発想のもと、デジタル技術とマーケティングの手法を効果的に活用します。

基本施策～市民サービスのデジタルファースト

行政手続の スマート化

- 行政手続の申請書等の見直し
- 行政手続のデジタルファースト、ワンスオンリー、コネクテッド・ワンストップ*7の推進
- 手数料等支払のキャッシュレス化
- マイナポータル等の活用による各種申請の電子化
- マイナンバーカード交付体制の増強

個別最適な 情報提供

- 市民一人ひとりのニーズに合わせた情報提供等
- 情報アクセシビリティ*8の向上
- デジタル活用による多文化共生

迅速で 効率的な 行政運営

- 業務のデジタル化、ペーパーレス化の推進
- 利用者中心のBPR（業務の見直し）の推進
- システム構築における民間サービス利用等の促進
- 基幹系業務システムの標準化・共通化、クラウド*9利用
- 情報システムや保有データの標準化の推進
- テレワーク環境の整備
- AIやRPA等の活用による業務の効率化
- 外部との連携を重視した業務環境整備、業務ツールの導入



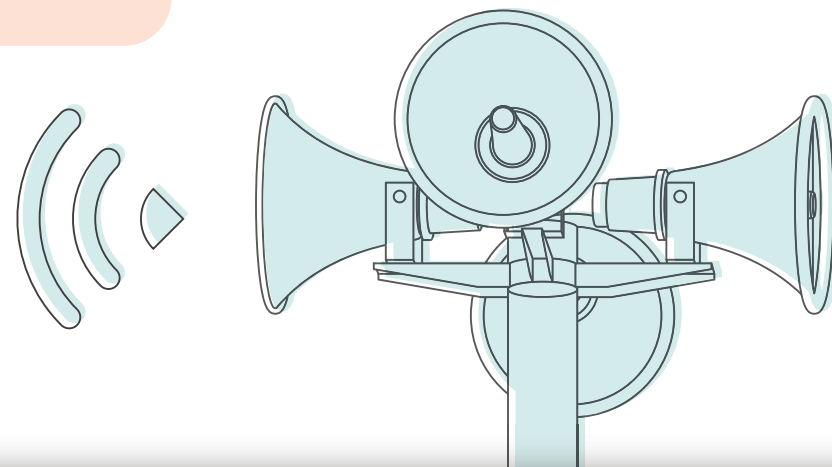
基本施策～まちづくりのデジタルファースト

安全・安心のスマートシティ

- 暮らしやすさ、安全に関する情報のオープンデータ化
- 地域コミュニティにおけるデジタル活用
- IoT等を活用した高齢者や子どもの見守り推進
- 災害の予測や災害状況の正確な把握
- 災害情報共有システムによる指示系統の効率化
- 災害関連情報の効果的な提供
- デジタル防災ワークショップ等の開催

ライフスタイルのDX

- スマートフォン講座等の開催
- デジタル技術を活用した市民の健康増進
- AI等を活用した健診（検診）の受診率向上
- 介護分野におけるデジタル活用
- 交通手段とサービスの連携による利便性の向上
- デジタル技術を活用した歴史・芸術・文化体験の提供



DXによるインフラ整備

- スマートフォンを活用した生活インフラの損傷報告システムの普及
- センサーやタブレット等の活用によるインフラの効率的な管理
- 条件不利地域における携帯電話のエリア整備
- 5G 基地局整備の働きかけや利活用の促進

いずも GIGA スクールプランの推進

- いずも GIGA スクールプランの推進に向けた教育環境整備
- 学校における最先端のデジタル技術を活用した教育の推進



事業者における DX の推進

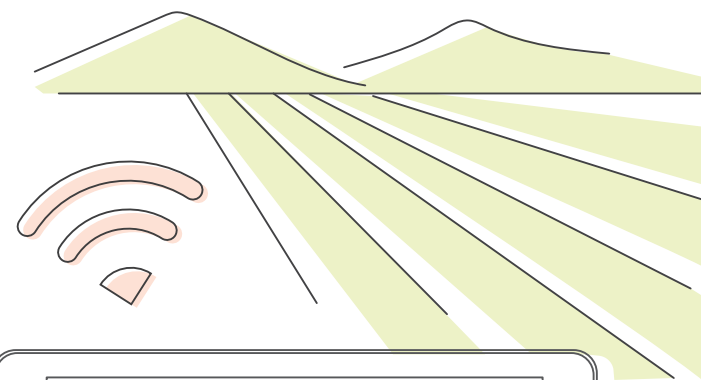
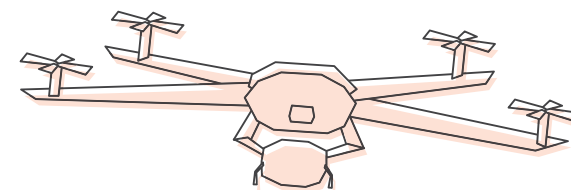
- AI、IoT を活用した
スマート農林水産業の推進
- 中小事業者の生産性向上に向けた
ICT・IoT 等の活用
- 地域におけるキャッシュレスの推進
- テレワークの推進
- 副業・兼業人材の活用

デジタルを活用したシティセールス

- デジタルマーケティングの
活用による情報発信
- サテライトオフィス等を活用した
ソフト産業等の誘致
- デジタル活用による
移住・定住・交流の促進
- オンラインイベント等を通じた
交流人口・関係人口の拡大

デジタルを活用した観光誘客

- ニューノーマル^{*10} に適応した観光の振興とにぎわいの創出
- 出雲の独自性を生かしたデジタルプロモーションの実施



官民共創による DX の実現

- 官民共創プラットフォームによる課題解決
- シビックテック*¹¹ 団体との協力関係の構築
- SNS 等を活用した市民参加型まちづくり

分野横断のデータ利活用

- 都市 OS*¹² の整備
- 地域におけるビッグデータ利活用の促進
- 保有情報等に係るオープンデータ化の促進

DX を進める人材の育成と活用

- DX を進める人材の育成と活用
- データ利活用に関するセミナー等の開催
- 人材の育成や活用における大学等との連携



用語の解説

*1	デジタルファースト	本市においては、市民の満足度の最大化を図るため、住民サービス、都市づくり、行政運営等あらゆる施策に対し、デジタルの力を最大限に活用すること。デジタルファーストによるスマートシティの実現により、持続可能な都市づくりを目指す。なお、デジタル手続法におけるデジタルファーストは、個々の手続が一貫してデジタルで完結することを意味し、「ワンスオンリー」「コネクテッド・ワンストップ」と並ぶデジタル化の基本原則の一つ。
*2	オープンデータ	官民が保有するデータのうち、容易に二次利用できる形式でインターネット等を通じて公開されたデータのこと。営利、非営利を問わず無償で利用可能。
*3	DX	Digital transformation（デジタル技術による変革）のこと。デジタル技術を活用して業務、組織、企業文化等を変革し、様々な課題を解決すると同時に新しい価値を創造すること。
*4	いずも GIGA スクールプラン	学校の生活や学習において日常的に ICT を活用できる環境を整え、その活用を図る ICT 活用教育を推進する、出雲市の GIGA スクール構想に関する基本計画。
*5	プラットフォーム	物やサービスを利用する人と、提供者をつなぐ場のこと。（IT用語として使う場合は、ソフトウェアが動作するための土台を指す。）
*6	サービスデザイン思考	サービスを利用する際の利用者の一連の行動に着目し、サービス全体を設計する考え方。
*7	ワンスオンリー、 コネクテッド・ワンストップ	ワンスオンリー：一度提出した情報を再提出不要とすること。 コネクテッド・ワンストップ：民間サービスを含め一か所でサービスを完結すること。
*8	情報アクセシビリティ	情報の利用しやすさのこと。
*9	クラウド	クラウドコンピューティングの略称。インターネット等のネットワーク経由で提供されるサービス（アプリケーション等）を利用する仕組みのこと。
*10	ニューノーマル	「新しい常態、常識」の意味。ある大きな出来事の発生により、それが起きる前と後で常識が大きく変わることを。
*11	シビックテック	市民や企業が、オープンデータ等のリソースやテクノロジーを使い、社会や地域の課題解決を行う活動のこと。
*12	都市 OS	その都市における交通機関、医療、金融、通信、教育等のデータを蓄積、分析し、都市間や都市と企業間等でデータやサービスの連携や再利用を可能にするプラットフォームのこと。